

平成 25 年 11 月 6 日

公益社団法人 日本技術士会 近畿本部会員各位

主催：公益社団法人 日本技術士会近畿本部

協力：機械システム部会

日本技術士会 近畿本部主催講演会のご案内

日本技術士会近畿本部主催(機械システム部会協力)の講演会を下記要領で開催します。多数のご参加をお願いします。なお例会終了後には懇親会を開催しますので、併せてご参加をお願いします。

記

1. 日時： 平成 25 年 11 月 23 日 (土・祝)

13:00～13:30 受付

13:30～13:35 開会挨拶 (福岡本部長)

13:35～14:35 講演 1 「原子力の安全と今後のエネルギー」
長 惇夫 技術士 (機械、総合技術監理部門)

14:35～14:50 質疑応答

14:50～15:00 休憩

15:00～16:30 講演 2 「磁場を用いた福島汚染土壌の除染に関する研究」
西嶋 茂宏 大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻 教授
(工学博士)

16:30～16:45 質疑応答

16:45～16:50 アンケート記入、事務連絡等

16:50～17:00 後片付け

17:30～19:30 懇親会

2. 場所： 新大阪丸ビル 新館 509 号室

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-18-5

アクセス： JR 新大阪駅東口から徒歩 2 分

3. 講演タイトル、講師略歴、講演概要

講演 1

① 講演タイトル 「原子力の安全と今後のエネルギー」

② 講師 長 惇夫 氏

長技術士事務所 技術士 (機械・総合技術監理部門)

③ 講師略歴：

1959年、東京大学工学部機械工学科卒業、三菱重工業 (株) 入社。以後ほとんどの期間、原子力プラント一次系の計画、設計業務に従事。高速炉エンジニアリング (株)、日本建設工業 (株) を経て、1999年より現職。

④ 講演概要

福島第一原子力発電所の事故の経緯、原因、対策について概要を述べる。合わせて、自分の経験の一端を述べる。今後のエネルギーについては、電力とGDPの関連、原子力発電停止の影響、太陽光・風力の可能性、エネルギー源供給の問題、原子燃料最終処分などの論点を示す。

講演 2

① 講演タイトル： 「磁場を用いた福島汚染土壌の除染に関する研究」

② 講師： 西嶋 茂宏 氏

大阪大学 大学院 工学研究科 環境エネルギー工学専攻 教授（工学博士）

③ 講師略歴：

1982 年 3 月、大阪大学大学院工学研究科原子力工学専攻 博士課程修了（工学博士）。大阪大学付属産業科学研究所放射線応用加工部門助手等を経て、2001 年 4 月、大阪大学大学院工学研究科原子力工学専攻教授。2005 年 4 月より現職。

④ 講演概要：

2011年に起きた福島第一原子力発電所事故により、放射性物質が広範囲に飛散した。その後、放射性物質は土壌に沈着し、大量の汚染土壌が生じた。現在では、放出された放射性物質の中でも、30年と比較的半減期の長い放射性セシウム（¹³⁷Cs）が問題となっている。大量の汚染土壌を効果的に処理する方法はまだ見つかっておらず、除染作業は計画通りに進んでいない。このことは、周辺の空間線量率の低下を妨げ、被災地域の復興の妨げとなっている。現在の福島に赴き、何度か視察をしているが、特に土壌除染について報告する。併せて、当方が検討している土壌分級の後に磁気分離法による土壌の除染について報告する。磁気分離で除染できる機構とともに最近のデータについて紹介する。

4. 参加費

講演会： 正会員（日本技術士会会員）は ￥1,000

非会員は 参加費として ￥2,000

懇親会： 会費 ￥4,000

会場 「ホテル新大阪」2階 琥珀・白梅の間

大阪市東淀川区東中島1-20-33 （JR新大阪駅東口及び講演会場より徒歩1分）

<http://www.hso.co.jp/index.html>

5. 参加申込

次のEメールアドレスへ、「正会員（技術士部門）」又は「非会員」明記の上、「講演会（例会）」と「懇親会」への各参加希望をご連絡下さい。

1) 近畿本部 pe @ipej-knk.jp

2) pe_kinki_kikai_system @yahoo.co.jp

（注）迷惑メール防止のため、Eメールアドレスの「@」の前に半角スペースを入れています。

お申込の際、「@」の前の半角スペースを削除して送信願います。

以上